

令和3年度 授業づくり検討会について

ゆり支援学校道川分教室

1 目的

- (1) アセスメントの評価や自立活動の流れ図の見直しと確認を行い、個別の指導計画、研究対象授業（個別学習）の指導内容、題材構成等の検討を行う。
- (2) 児童生徒の『学びを実感し、達成感を表す姿』や児童生徒の主体性を引き出す教師の関わり方等について分析し、授業の評価、改善に生かす。
- (3) 学習評価記録やエピソード記録の分析や考察を通して児童生徒の変容や成果と課題を明らかにし、次へつなげる方向性を検討する。

2 授業づくり検討会の持ち方について

- ・年間8回の機会を設けて実施する。（進行：研究部、記録：輪番）

3 授業づくり検討会の流れ

○授業づくり検討会Ⅰ（5月6日～13日）〈対象：児童生徒全員〉

- ・児童生徒一人一人の実態、卒業後の目指す姿、教育的ニーズ、目標等について確認し、昨年度作成した自立活動の流れ図を確認し、それを基に個別の指導計画、個別学習の指導内容等について検討する。
- ・道川授業デザインシートを活用し、指導主事計画訪問で実施する題材の内容、手立て、題材で目指す姿等について検討し、提示授業の検討用ビデオを撮影を開始する。

○授業づくり検討会Ⅱ（5月24日～6月7日）

- ・指導主事計画訪問で提示する授業の様子をビデオで視聴し、改善点について話し合い指導案（略案）に反映させる。
- ・題材における児童生徒の『学びを実感し、達成感をあわらす姿』について共通理解し、評価記録用紙に反映させる。
- ・検討後の改善授業の様子を撮影する。

○授業づくり検討会Ⅲ（7月）

- ・指導主事計画訪問を受けた成果と課題の確認をする。また、中間評価（エピソード記録等の考察による児童生徒の変容の確認、指導内容・方法を振り返り）を行い、個別の指導計画の見直し等を通して2学期以降の指導・支援に生かす。

○授業づくり検討会Ⅳ（8月）

- ・授業づくり検討会Ⅲを受け、要請訪問や校内授業研究会で提示する個別学習の授業について、道川授業デザインシートを活用し、実施する題材の内容、手立て、題材で目指す姿等について話し合う。

○授業づくり検討会Ⅴ（9月）〈校内授業研究会①② 2名〉

- ・校内授業研究会で提示する授業の様子をビデオで視聴し、改善点について話し合い指導案（略案）に反映させる。
- ・この題材における児童生徒の『学びを実感し、達成感をあわらす姿』について共通理解し、評価記録用紙に反映させる。

○授業づくり検討会Ⅵ（10月～11月）〈校内授業研究会③④ 2名〉

- ・校内授業研究会で提示する授業の様子をビデオで視聴し、改善点について話し合い指導案（略案）に反映させる。
- ・この題材における児童生徒の『学びを実感し、達成感をあわらす姿』について共通理解し、評価記録用紙に反映させる。

○授業づくり検討会Ⅶ（12月）

- ・授業研究会を受けての成果と課題、改善点、対象児童生徒の成長・変容の確認をし、個別の指導計画の見直し等を通して3学期の指導に生かす。

○授業づくり検討会Ⅷ（2月）

- ・児童生徒一人一人の今年度の変容や成果と課題について検討し、評価として個別の指導計画に反映させる。
- ・評価に基づき、流れ図の修正を行い次年度に向けての課題を検討する。